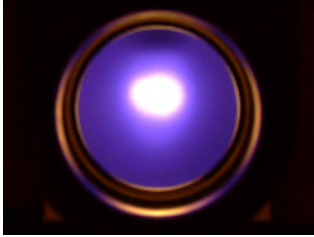
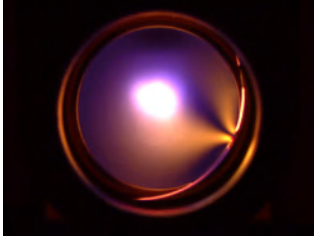


レンズ素材別 歪み測定結果



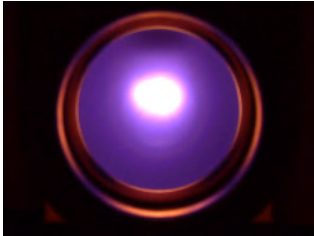
なし

歪み計に何もサンプルがない状態



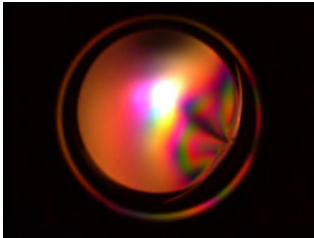
アクリルレンズ

成型時（注入口より）に発生する歪みが現れています。これは、樹脂自身の粘性のためのもので、大量生産のため仕方ありません。



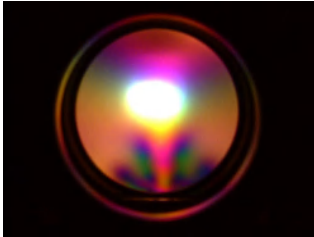
CR-39

水のようなモノマーを24時間かけて熱硬化させるため、ほとんど歪みはありません。



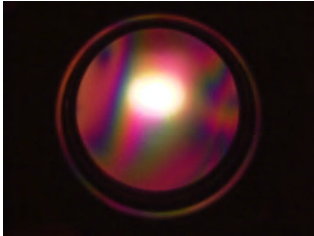
ポリカーボネイト

素材自身が非常に粘性があるため、注入口を中心に大きな歪みが発生している。本来レンズは光をまっすぐ透過するべきであるから、衝撃からの保護以外にはお勧めできません。



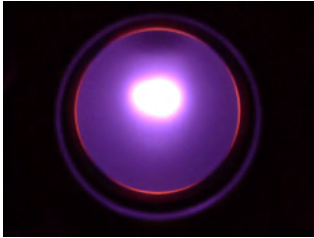
ポリカー眼

スポーツ用ゴーグルとしておなじみのレンズです。



ポリカ偏光

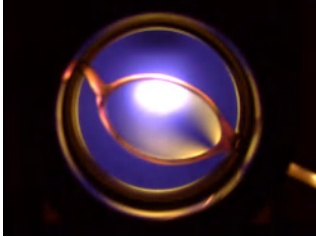
釣りやゴルフ用のレンズとしておなじみのレンズです。



ガラス偏光

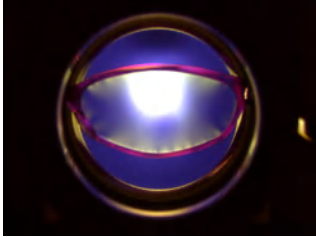
光学両面研磨されたレンズですから、歪みはまったく発生しません。レンズを意識することなくクリアな視界が広がるでしょう。

レンズ素材別 歪み測定結果 枠つき



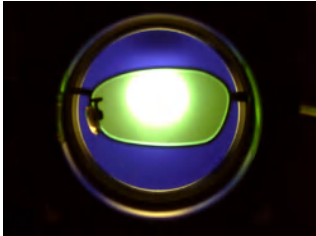
アクリル

歪みの入りにくい玉型ですが、レンズ自身の成型時の歪みは取り除くことはできません。



CR-39

アンカットでは歪みのないレンズですが、大きめに加工して枠に入れるとこのようにリムとの接点に歪みが発生してしまいます。しかし、中心部分には歪みが無いためアクリルレンズよりも目に負担がかかりません。



ガラス偏光

ガラス自身が非常に硬質のため、レンズに枠のほうが付くので歪みがまったく発生しません。目には非常に優しいと言えます。